

つきたい力

取組みの概要・ポイント

物事を見通し、計画を立てながら実行できる  
自己調整する力

【学習計画】を活用して単元を見通し、1時間ずつの「めあて」や「学習の流れ」を確認しながら学習を進める。

具体的な取組みの内容「学習計画の活用」

【学習計画】で「単元全体」を見通す

- ☆単元はじめに、【学習計画】で単元全体の「めあて」「大まかな内容」などを確認。
- ☆活用する『シンキングツール』やワークシートを事前に把握する。
- ☆1時間の授業ごとに、「振り返り」を記入し、次の授業につなげる。
- ☆単元すべての学習内容を、1つのシートにまとめる。

◎タブレットPCの効果◎

- ・配付する、ノートに貼る、ファイルに綴じる、集めて確認するなど、様々な作業における効率化を図ることができる。
- ・単元全体の学習内容を1つのデータに保存することができ、いつでも開いて確認したり、復習したりできる。
- ・学習の進捗状況や児童の理解の状況等を踏まえ、必要に応じて編集したり、変更したりすることができる。
- ・紙媒体と比べ、一覧できる範囲内にたくさんの情報を入れ込むことができる。

【学習計画】で「1時間の学習」を見通す

- ☆1時間の学習の流れを【学習計画】で確認
- ☆1時間を4つのフェーズに分ける。

- ☆「めあて」「学習内容」「振り返り」を一つのシートにまとめる。
- ☆『共有ノート』で友だちの意見も把握。
- ☆前回の「振り返り」から、次の学習の「めあて」につなげ、継続した学びを展開する。

◎タブレットPCの効果◎

- ・あらかじめ学習で活用する資料（写真や動画等）を載せておくことができる。
- ・友だちの意見をリアルタイムで共有することができる。また、友だちの意見も含めて自分の学習の記録として残したり活用したりすることができる。
- ・必要に応じて編集できるので、紙媒体ではできない工夫ができる。（例：活動が終わるごとに児童が自分で付箋の色を変えていき、進捗を自分で確認しながら活動を進めるなど。）

取組みを通しての子どもの変容

- ・単元のはじめに【学習計画】を見て、単元全体の見通しを持つことで、単元の大まかな流れや取組みを把握することができ、児童それぞれが活動に活かす（調整する）ことができた。
- ・事前に予習する児童や、わからなかったことを復習し次につなげる児童も見られ、【学習計画】活用の効果がみられた。
- ・友だちと意見を共有し、多様な意見にふれることで、活発に話し合ったり、考えを深めたりすることができた。

学習計画の活用に関する  
実践事例等の詳細はコチラ

